

## 計算書類に対する注記

### 1.重要な会計方針

#### (1)固定資産の減価償却について

什器備品……定額法による減価償却を実施している。

#### (2)資金の範囲について

資金の範囲には、当座預金、普通預金、郵便振替及び未払金、所得税預り金を含めることにしている。なお、前期末及び当期末残高は 3 に記載のとおりである。

### 2.基本財産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	2,000,000	0	0	2,000,000
合計(基本金)	2,000,000	0	0	2,000,000

### 3.次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
当座預金	1,485,313	68,546
普通預金	974,346	63,963
郵便振替	622,156	490,166
合計	3,081,815	622,675
未払金	81,178	0
所得税預り金	13,990	14,270
合計	95,168	14,270
次期繰越収支差額	2,986,647	608,405

### 4.固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	3,171,750	2,814,411	357,339